# 授業科目　言語聴覚障害診断学演習 I

| 【担当教員名】 | 対象学年 | 3 | 対象学科 | 言語 |
|---|---|---|---|---|
| 山岸　達弥　他 | 開講時期 | 後期 | 必修選択 | 必修 |
| | 単位数 | 1 | 時間数 | 30 |

【ディプロマポリシーとの関連性】

| 知識・理解 | 思考・判断 | 関心・意欲 | 態度 | 技能・表現 |
|---|---|---|---|---|
| ◎ | ◎ | ◎ | ◎ | ◎ |

【概要・一般目標：GIO】

言語聴覚障害診断学で学んだ各種の評価・診断の理論と方法を演習形式により実施し，臨床場面で実際に実施できるようにする。また，病院，施設等を訪れ，臨床現場での診断技術を学ぶ。各言語聴覚障害の専門分野を含む評価・診断の理論と方法について演習を行なう。

【学習目標・行動目標：SBO】

1．専門基礎科目と専門科目の理解を深める。
2．臨床実習を補うための症例検討会参加、症例の VTR 検討、対象者との臨床的かかわりの機会を体験する。

| 回数 | 授業計画・学習の主題 | SBO 番号 | 学習方法・学習課題 備考・担当教員 |
|---|---|---|---|
| 1 | 詳細は追って知らせる | 1.2 | 講義、演習、臨地体験　研究会参加 |

| 【使用図書】 | ＜書名＞　＜著者名＞　＜発行所＞　＜発行年・価格 他＞ |
|---|---|
| 教科書（必ず購入する書籍） | |
| 参考書 | |
| その他の資料 | |

【評価方法】

出席状況と演習態度について総合的に評価する。

【履修上の留意点】